絵本とファンタジー体験

富田　昌平

子どもは楽しいことを経験すると、何度も再現したくなります。遊びはそのようにして生まれますし、絵本は子どもの「やってみたい」の幅を広げてくれます。ホントではないけどウソッコで楽しむ。ありえないけどありそうな気がしてワクワクする。本講義では、絵本がもたらすファンタジー体験の魅力についてともに考えてみたいと思います。

絵本がつくる遊びのノリ

- 子ども時代における遊びの価値
- 絵本の楽しさと遊びのノリ

子どもの遊びと発達

- ごっこ遊び：ウソッコの世界を楽しむ
- ごっこ遊びの構成要素
- ホントとウソッコの融合と脱融合
- ウソッコ世界の共同化

絵本がもたらすファンタジー体験

- 想像的探険遊び：絵本を通したファンタジー体験
- エルマーになった子どもたち
- 絵本の世界と現実とをつなぐ
- 子どもが見つけたきょうりゅうの卵
- かっぱとともに楽しんだ 1 年間
- 写真で見る想像的探険遊び
- 絵本から遊びへ
- ホントとウソッコで揺れ動くことの意味

絵本は子どもを「その気」にさせる

- 人間は不思議や謎が大好き
- 信じることとファンタジー体験
- ファンタジー体験は子どもの成長を後押しする